

暮らしの中に自然をつくる、いつでもそばにグリーンを。

# NIWATOKO

## LIFE BY THE GREEN



### *Verandah Garden*

## ベランダをお庭に変える

ベランダガーデンスタイル別サンプル／簡単にお庭をつくるためのストーンマテリアル紹介

気分を上げるガーデンアイテム／食べるお庭・読むお庭

京都の「四季者」MAESTRO インタビュー

**NIWATOKO** 特別編集 LEC ムック

2017年9月4日発行 発行人／編集人 大久保圭人  
〒160-0002  
東京都新宿区四谷坂町9-9 三廣ビル7F  
株式会社 LEC 編集部  
tel.03-5357-7898 Printed in Japan

ニワトコとはスイカズラ科の落葉低木です。マリ・ゲヴェルスのブランドルの四季暦、9月の頃にニワトコの木が出てきます。このムック本も9月発売です。忌み嫌われるニワトコ、魔法使いが化けるといわれるニワトコ。そんな嫌われ者のニワトコですら愛してしまおう。世の中の全ての植物に愛を。そんな想いを込めて、「niwatoko」という雑誌をつくりました。

*Life by the green.*

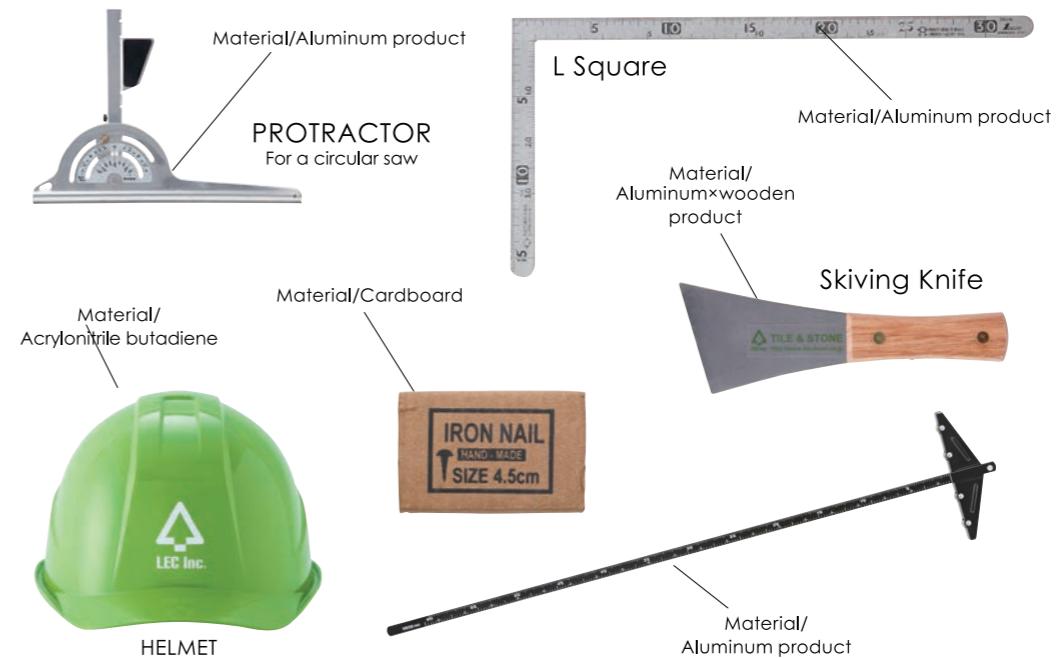
## FEATURES

008	Interview 緑にまつわる今昔を探る 京都 MAESTRO のたくらみ	052	STYLE ARCHIVE スタイルで考える パッケージガーデン
014	Rugged or Easy 流行のアイテムでつくる スタイル別アウトドアリビング	058	For Fashionista カタチから入る 着る・持つ・使うのアイテム
016	3 Style sample ベランダガーデンの見本帖 ベランダをお庭に変える 1_南欧を感じるリラックスガーデン 2_モノトーンでつくる、モダンガーデン 3_子供とつくろう、食べられる庭	060	5Spicy Recipe ベランダガーデンを食べる ハーブを使ったスパイシーレシピ5選
038	Stone Materials スタイル別 庭づくりの必須アイテム 1_Italian 2_South Europe 3_Paris 4_British 5_Brooklyn 6_Portland 7_Bricks&Gravel	064	Sunny reading 晴耕雨読 緑を愛する心に効く、本の処方箋

# LEC inc.

石・タイル等の内外施工業務承ります。  
各種セラミックタイルの取り扱い御座います。

**Polish tile,Matte tile,Earth style nature selection,  
Earth style classic selection,Terra cotta,  
Wood pattern,Plumbing tile,  
Mosaic glass,Mosaic tile,Border tile,  
Wall,Facing tile,Brick tile,Stone,  
Border,Granite,Marble,Mosaic stone,Bricks,  
Plastering material,Joint filler**



A photograph of a garden scene. On the left, a light-colored wooden house has a window and a door. A ladder leans against the wall near the door, which has a basketball hanging from its handle. A red bicycle is propped up against the house. In the center, there's a wooden deck with two metal chairs. A small wooden arbor with a bench is covered in dense green vines. The ground is covered in various plants, flowers, and a green lawn. The overall atmosphere is one of a well-used, though somewhat neglected, outdoor space.

# LIFE BY THE GREEN



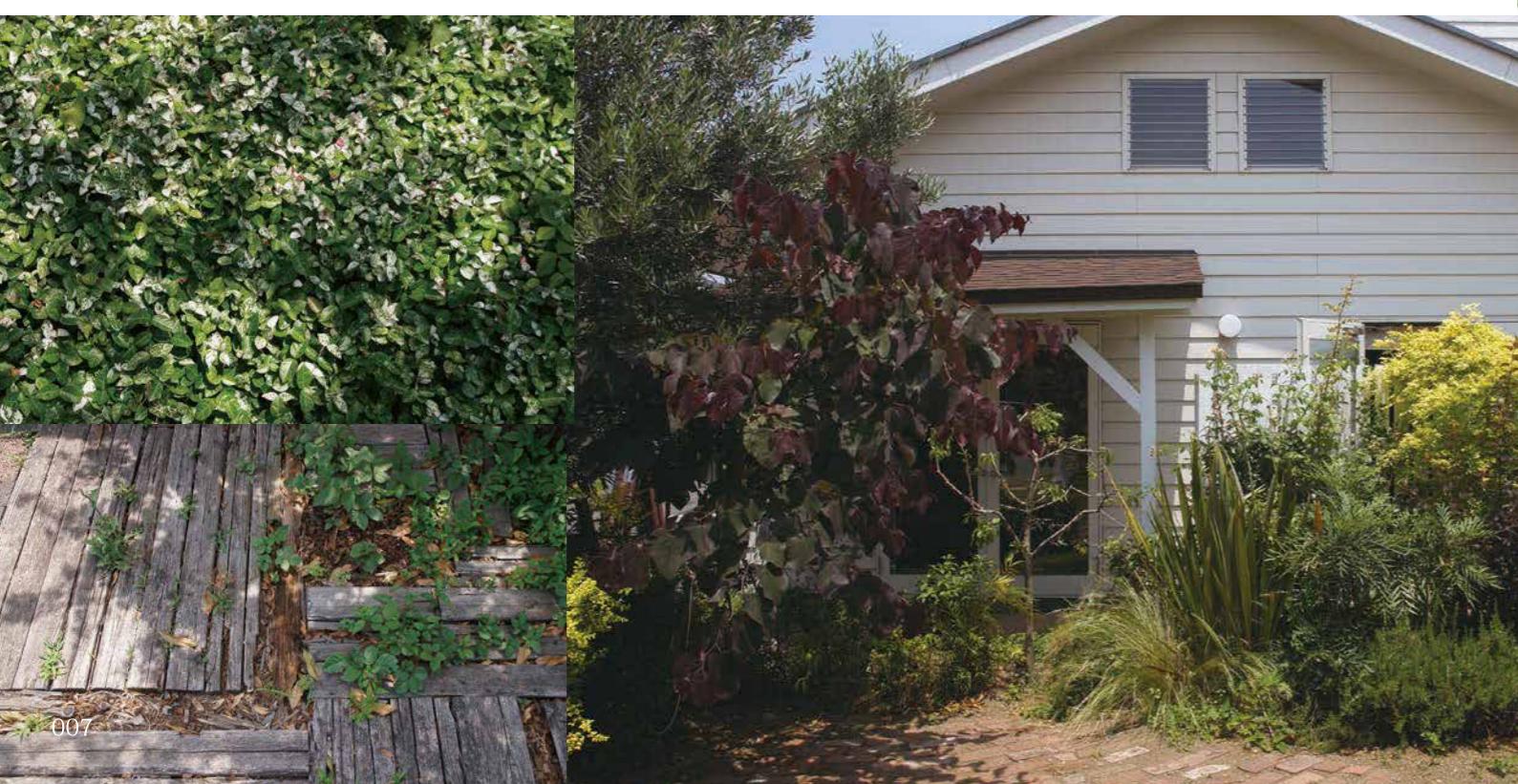
## 石に咲く花

通りを歩いていて、ふと目をあげると思うことがあります。日本の住宅は少しだけ寂しいなど。それは日本の建築についてではありません「居宅と庭」旧来日本の住宅にとっては当たり前の文化でした。

海外の通りを歩いていると騒々しいと感じるほどに集合住宅のベランダ・バルコニーからは植物達が顔をのぞかせて…というより身を乗り出しています。それは何もアメリカやヨーロッパのことだけではありません。アジアの集合住宅も然りです。いやむしろ、アジアの方がそれはもう鬱蒼とうなづびに。

一方で日本の集合住宅は幾分寂しいものです。小綺麗で清潔な建物のベランダはそれ程もう簡素に、静やかに慎ましやかに、その居すまいを保っています。

庭のある家もそうでない家も、緑のある生活がもう少し私たちの身近になつたら素敵だと思うのです。



花と緑を巧みに使用して  
四季を表現する者



## 花を通じて感動を与えていく事がMAESTROの 仕事であり、願いです。

—まずはMAESTROの社名の由来を  
おしえてください。

**総谷** 花と緑を巧みに使用して四季を表現する者。“指揮者”と“四季者”的意味を併せ持っています。

—この業界に入ったきっかけは。

**総谷** 以前は日本料理の世界にいました。そこで修行をしていました時に花を活けに来る業者さんと巡り合ったことがきっかけです。花も料理も加工をして美しく仕立てていく工程は同じですが、料理は冷凍保存でなくても花は出来ません。花は作品が生まれた瞬間から朽ちていく最期の瞬間までの全てが美しいのです。“瞬間を楽しむ価値”という意味で、より花に魅力を感じました。

—ヨーロッパはもちろんの事、植物と触れ合う時間がまだまだ日常になっていないと思うのですが。

**総谷** 日本は他のアジア諸国に比べても、日本は他のアジア諸国に比べても、植物と触れ合う時間がまだまだな気がします。我が家を建てて、そこに庭師が岩を配置して植栽をして、縁側を設置してという文化がありました。今はマンションが増えて、なつかつ高層化していますが日本以外の



MAESTRO.  
代表者 総谷 武史

2009年より京都を拠点に活動を開始する。現在は法人化して、商業施設や百貨店をはじめ、アパレルや飲食店等のイベントディスプレイ、プランツリース、ブライダル、ランドスケープデザインからフラワーアレンジメントまで垣根を設げずに国内外から仕入れた花線を用いて多種多様な作品をつくり続けている。2016年には東信氏のパリで行われたインスタレーションに参画し、また同年には祇園エルメスのランドスケープデザインも担当する。<http://www.maestro-k.jp>





「もっと緑と触れ合っていく文化を築いていくためには、

まさに今グリーン業界はブームで、様々なおしゃれなお店が増えていると思いますが、今後はどう変遷していくと思いますか。

— 今後MAESTROは、何を目指しますか。



総合 高価な植物をジャンクな鉢に入れて販売したりとか、身近な植物を広大な敷地内におしゃれに演出した植物園を作ったりとか、業界の雄が作った流行は浸透した感があります。そこで、都市にある花屋は園芸店との違いをより明確に打ち出していくとされているよう思います。植物人気が高くなればなるほどカテゴリーが分かれいく中でこれからは専門店が増えていくのではないかと思います。日本で言つたら盆栽のような位置づけのコートックスのような根塊植物を専門に扱うマニアックな人たちが出てきたりしていますからね。そういう意味

総合 大規模造園、中規模造園という道もあるかもしれません。坪庭といわれる限られたスペースの中で小粋な庭を造つていただきたいですね。そこには流行りの植物をariつけ使うのではなくて、意味のある植物を厳選して植えていく。例えば茶花のようないくつかの植物を植えればビジネスとしては成功といえるかもしれません、そはしたくない。その庭に植えると、将来植物がどのように枝葉を伸ばしていく、どのような樹形にならかということまで考えてひとつひとつの植物を選んでいきたいと思うのです。更にはそこに住まつ方の背景

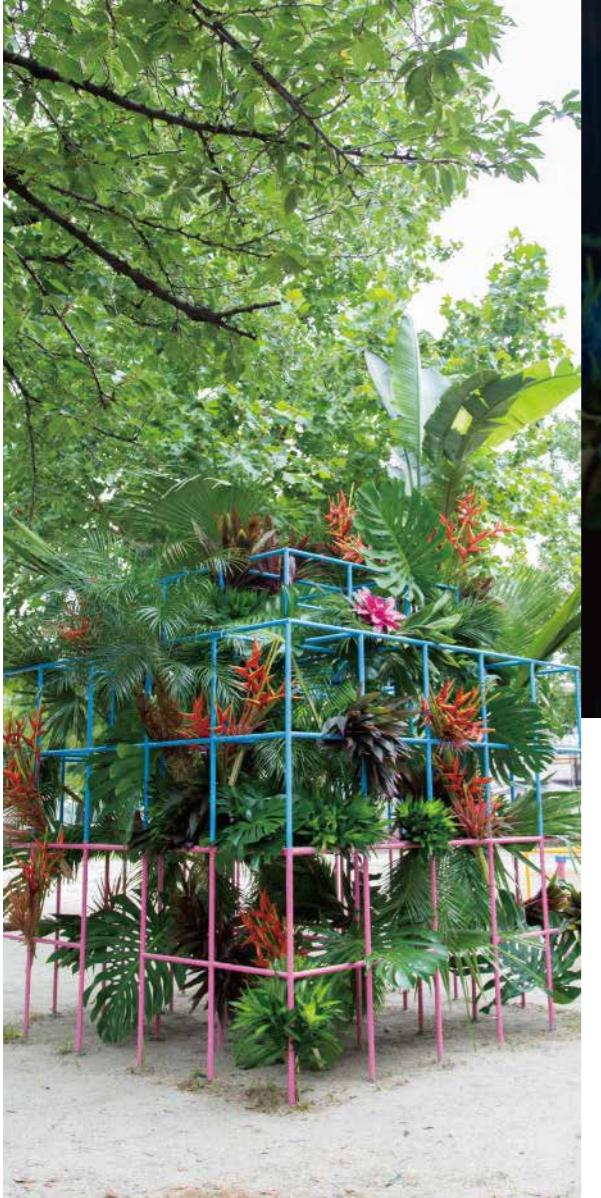
では一般の人たちからは遠ざかってしまついる部分もあるかもしれません。

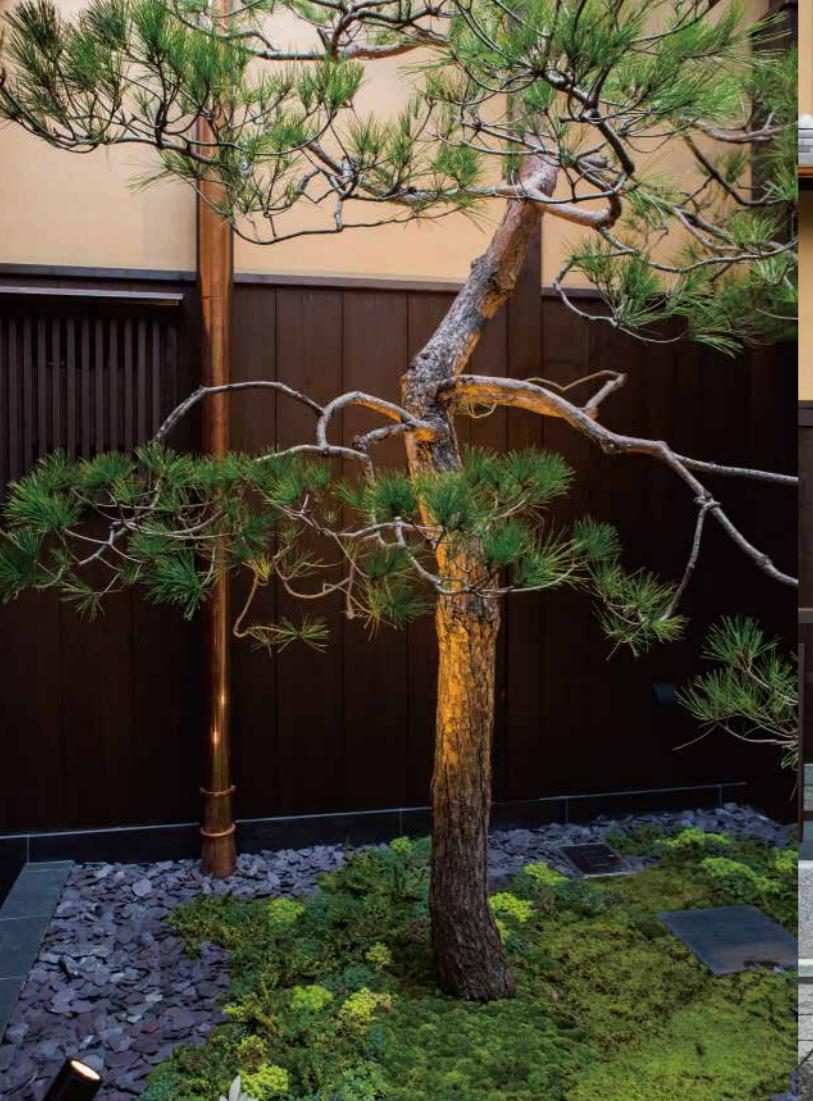


総合 やっぱりベランダガーデニングというのが一つのきっかけになるのでないかという意味では同じ考えです。人々の住スペースが狭まってきていましたような純和風の植木や鉢というの確かに需要が減つてきてるのは事実ですね。やはり鉢も植物も大ぶりのものが多いので、日本の家庭環境というか生活スタイルが変化している中で、一人暮らしの人が増えています。単身者の頃から一つでもいいから、小さくてもいいから手の届く範囲に植物を置くことが大切だと思います。そういった方がやがて結婚をして、家を買って、子供が産まれるという変化を経ていくと、家族単位で緑と触れ合う時間が増えていくと思うのです。家庭に一つでも緑があると、自ずと放ってはおけなくなるというか、ペットのように、もしかしたらベット以上に手がかかる場合もあるので、家族で緑を共有する時間が自然と生まれてくると思います。例えばプランターで家庭菜園をするかもしれないし、季節が巡れば鉢の植え替えをするかもしれない。そんなふうにして子供のころから土に触れる経験をすることが、緑の多い社会に繋がっていくのだと思います。実際に十数年前からおしゃれな花屋が爆発的に増えたし、今まで植物を扱っていないなかつたお店まで、ファッションとして植物を置くようになってきました。徐々に緑が身近になってきている光だと思います。



を踏まえたうえで、どうしてこの場所にこの植物があるのかということまで設計したいということです。植物というのは「根付く」ものですからね。人間の生活と同じです。一人ひとりの人間に意味と価値があるのと同じです。その家と人に合わせて、大切にたいせつに植物を選んであげる必要があると思うのです。女性が「着物」を生涯大切に保管し、大切な人に受け継いでいくことと似ています。「木物」と言ってもいいかもしれません。と共に生きていくものですから。ともすれば大地に根付いた植物は人間を見るわけですから。坪庭に限らず、私たちMAESTROが扱う全ての植物はひとつひとつ丁寧に選んでいます。





2016年11月から2017年の7月までの期間限定でオープンした祇園(きおん)HERMÈS MAESTROがランドスケープデザインを手掛けた。



同店で開催されたレセプションパーティの為にコーディネートされた結果。

総谷 家族とは違つかもしれません。もちろん、気持ちの上では癒されると助けられます、家族の場合は同時に甘え合う部分もありますよね。ですが、植物はそこはいきません。こちらが植物に甘えを見せてしまうと途端にダメになってしまふものもあります。家族の場合はそつうなら助けて引っ張つてあげることができます、植物は一度ダメになつてしまつたら黙つて看取るしかないこともあります。一方通行の愛情かもしれませんね。でもこちらが手を掛けてあげると美しい姿を見せてくれるわけです。その喜びはとても大きなものです。だからこそ、生涯付き合っていきたいと思います。時には売られたくないなと思う植物に巡り合つこともありますがそれはエゴですね。しかし一方で、この人に買つてほしいと思うこともあります。植物に対する価値を共有してくれる人です。しかし、そのような価値を強要することもまたエゴです。ですから、私たちの使命は価値を共有してもらえる人を増やしていくだけの作品を皆様に提供していくことをだと思います。

— MAESTROにとって植物とは  
総谷 大切な人ですね。喋れないけど大切な人。身近な人です。

— 家族のような。

— MAESTROにとって植物とは。

# Trend outdoor living

## 「隙」でつくるラギッドガーデン

アンティークウッドとヨーロッパの古都の石畳を模した2点の敷材、そしてブラウンペブルだ。ベースとなるのはたった3つのアイテム。使い古されたイメージの素材をダークトーンで更に渋みへと落とし込むことで、逆に今っぽさを引き出すことができる。

- 1・ポートランドフロア ブルー／¥1,480  
(ジョイフル本田)
  - 2・ポートランドフロア グリーン／¥1,480(ジョイフル本田)
  - 3・タイラリアンプロムナード／¥498(ジョイフル本田)
  - 4・コーヒーベブル／¥880  
(ジョイフル本田)



# 流行のアイテムでつくる アウトドアリビング

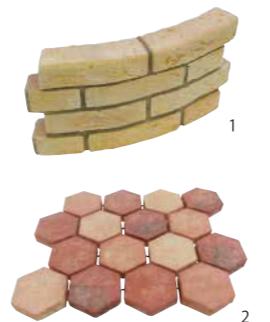
ポートランド、サードウェーブ、グランピング、アウトドアリビング。これらのワードをしばしばメディアで聞くようになって久しい。これらに共通するのは何だろうか。具体的に定義を上げると言われると答えて窮するかもしないが、何となくのイメージはほんやりと浮かぶのではないかだろうか。ウツティでアツたり、手書き風であつたり、ハンドメイド風であつたり。温かみがあり牧歌的、トライショナルな雰囲気を醸しているのにどこかスタイリッシュ。おおよそのイメージはそんなところだなうか。それらは昨今、紙媒体、雑貨、建築、空間、服飾といった文化にあまねく影響を与えている。書店で目にする20代向けのカルチャー誌、雑貨店で見かける商品のパッケージや広告、リノベーションデザインの潮流もそうであるし、服飾についても然りだ。ブリティッシュ生地にエンジボケット、ピーコードラペル、パンツにはタックが入る。しかしシルエットはスッキリとしたテーパードライン。クレシックでありながらスタイリッシュ。二律背反だ。しかし、それが何でか心地よい。そんな流行(流行)というよりは今では一つのスタンダードになりつつあるの雰囲気をお庭やベランダに落とし込んでみようと思つ。



## 自然素材でつくるリラックスガーデン

素焼きのテラコッタを模した敷材をベースに、ベージュからオレンジへのグラデーションでのんびりとした雰囲気を演出した。インテリアも自然素材でコーディネートすることで、更にやさしい空間となる。

- 1・チャルシーボーダー 外アール イエロー/  
¥898(ジョイフル本田) 2・オールドヘローナ  
ヘックス/¥1,280(ジョイフル本田)



# VERANDAH GARDEN

ベランダをお庭に変えてみる

ベランダがお庭になったとしたら、あなたなら何をしますか。

それよりも、ベランダがお庭になった生活を

想像することができますか。

ここだけの話、結構変わるみたいです。人も、暮らし方も。

そんないくつかの例を紹介してみたいと思います。





横浜市の中腹に立つ  
洒落なヴィンテージマンションの一室に  
桶ヶ郷はある。ゆるやかな起伏を繰り  
返す、坂の多い閑静な住宅街だ。窓の外  
に広がるのは、まるで南ヨーロッパのよ  
うな長閑な風景。春になると自邸前の  
広大な畑は農作物で一面緑色に色づく。  
少し目線を遠くにやると、対面する丘  
陵にはパステルカラーの華やかな輸入住  
宅が美しく点在する。目線を横に移す  
とそこにはコバルトブルーの海が広がっ  
ているのではないかと錯覚するほどのロ  
ケーションだ。とは言えそこはやはり日  
本。空気の澄んだ日には西の空に富士山  
がくっきり映るという。フルリノベーショ  
ンを施された室内には大きな窓から光  
がたっぷりと差し込み、床と天井に用い  
られた無垢の木材を明るく照らし出す。  
しつらえられた家具も、やわらかな曲  
線で構成された美しい木製品が多い。

食器やファブリック、オブジェなどの小  
物は北欧物で統一されている。ベランダ  
にはご主人の趣味だという盆栽ぐ  
ら風に揺れでいる。ベランダの床に敷  
かれているのは1ピース10cm前後の六  
角形の形をしたアンティークテフコッタ  
調の石材が16個連結されている一枚  
の敷材だ。経年変化した時に現れる  
白華や苔の風合いでも見事に再現さ  
れている。一枚一枚異なる色調で焼成  
される風合いの再現もわざとらしい。  
隙間にはイエローとホワイトの玉砂利が  
ラフに撒かれている。2色を混せ合わせ  
ることでページュに近いやわらかい色味  
へと変化し、テラコッタのしっかりとし  
た色調を更に際立たせている。また、  
草花への水やりや洗濯物の出し入れをす  
る際の同線には擬木の石材を飛び石と  
して置かれていて、生活同線にも配慮  
されている。擬木の特徴は本物の木と  
は異なり、屋外でも腐ることなく美し  
い経年変化を楽しめるところだ。濃く深  
いブラウンの擬木平板はベランダ全体の  
色調をグッと引き締めている。



The veranda garden full of foreign sense.

## VERANDAH GARDEN

### Garden-01

Scandinavian Style



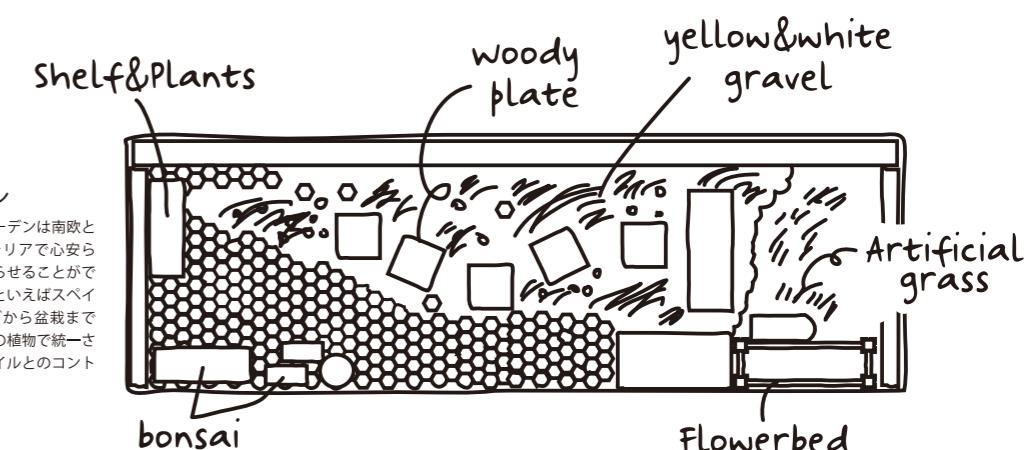
Southern Europe Style



インテリアでは北欧に暮らす、ベランダでは南欧を楽しむ。週末のキャンプではドイツ製の愛車に乗り込み、イングランド製のキャンブ道具でアウトドアを堪能する。そして時には自邸にこもって盆栽の手入れにいそしんだりもする。それぞれのシーンに世界各国の“好き”を取り入れた渾然一体のライフスタイルだ。ベランダまで手を抜かずに作り上げることは、暮らすことの一つにこだわりを持ち、慈しみを持っている樋口家にとってはまさに当たり前のことだ。

### ベランダで足裏に石を感じることの意外性と特別感

最低でも月に一回はキャンブに行くという、アウトドアをライフスタイルにしている樋口家にとって、自宅においてはして屋外で過ごす時間をいつながらにして確保するという持つ為のスペースを確保するというのにはいざなう。ウッドテックは施工が簡単かも知れぬけれど、結局どうしてもベランダの域を出ません。





やつぱり石を踏んでいる感覚が“庭”を感じさせてくれるんですね。だからどうせ敷くなら多少重くても木ではなく石を敷きたいと思いました。窓を開けて一步サッシを踏けば庭に出られる家なんて、庭付きの二戸建てにだって、そうはないと感じます」という。

取材日当日、マンション前の畑には課外学習に来ていた小学生たちが笑い合って、泥だらけになりながら、「ペランダに出る時間が増えると季節をより肌で感じられるようになります。夏の暑い日なんかは、植物への水やりついでに、敷いた石材に打ち水感覚で水をまきます。冷たい水を吸った石が立ち上げる空気を、風が部屋の中に流し込んでくれるので涼しく感じますし、逆に真冬に珍しく雪が降った朝、ペランダの石の上にうっすら積もった雪をみるとマンションの一室にある我が家が、大地と一体になつていて感じます」。普段から自然と触れ合う機会の多い樋口夫妻は家でも、室内からベランダを眺めて過ごす時間が増えたという。室内と室外、インテリアとアウトドア、週末と平日、その境界が今ではペランダガーデンによって幾分薄くなり始めたという。





## 早起きの アーバンライフ

山の手の高台に建つほとんど新築のそのマンションは現代的で都会的だ。グレーの「二丁掛タイル」が整然と張られている。エントランスはグレーとアイボリーで統一されており、おおよそ緑とは無縁的印象を受ける。高層階移動し、エレベーターを降りると、ホテルライクなタイルカーペットの内廊下が現れる。やはりグレーに統一されている。照度を落とした静謐な廊下を歩いていると現場を間違えてしまったのではないかと緊張感が高まる。幾分不安な気持ちを抱えたままインターフォンを押し、そのままインターフォンを押してみると。現れた夫妻はやはりスタイルシックだ。とても土をじうて手を汚しそうには見えない。リビングに迎え入れられるとまず、目に飛び込んできたのは圧倒的な存在感を持つ大きなストレーチアだ。インテリアもダークブラウンとホワイトのツートンで落ち着いた印象だ。重厚で直線的な家具で構成されたインテリアに観葉植物のグリーンと躍动感が実によく引き立っている。窓の外を見ると、右には椿山莊ホテルの緑さしに力強いアートホテルをはじめとする銀色に輝くビル群が屹立し、左には首都高越しに東京都庁とパークハイアットホテルをはじめとする銀色に輝くビル群が屹立し、左に目を移すと東京タワーと湾岸の



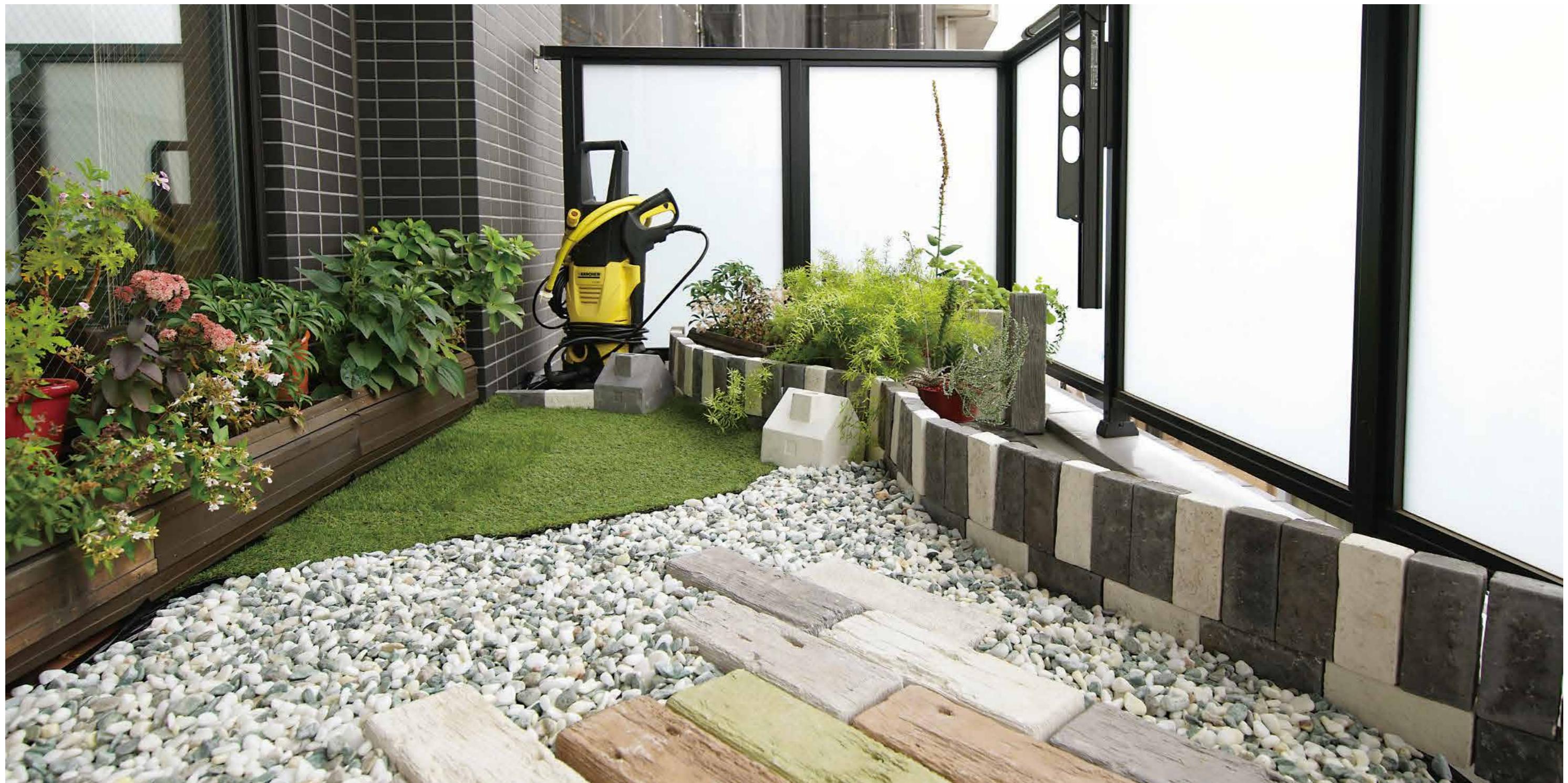
## VERANDAH GARDEN

ベランダを手作りガーデンにする。

The verandah garden full of foreign sense.

## Garden-02

City Style



## 高層階の プライベートガーデン

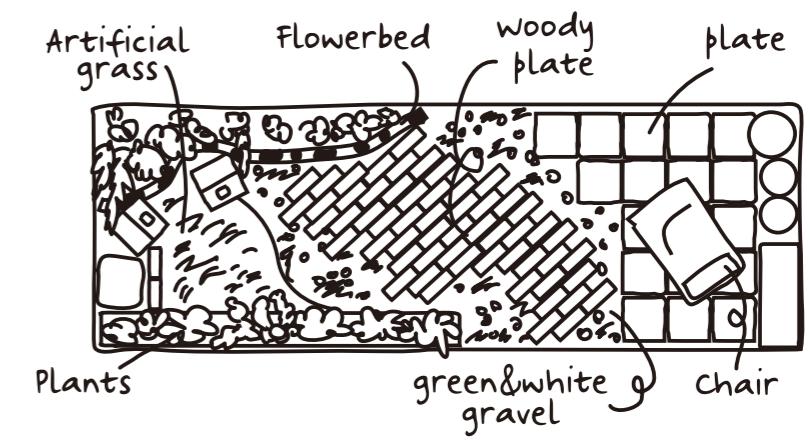
余韻しきを感じることができる。湾岸エリアとはまた違い、山の手ならではの東京の今昔をあまねく堪能できる。まさに都会暮らしの眺望である。さて、ベランダに視線を落としてみよう。とても広々としたベランダだ。十分にたっぷりと奥行きがとられていて、都心の戸建ての庭よりも広い。床に敷かれているのは外壁と同系色のグレー×ダークグレーのアンティークブリック平板だ。その上には日常生活が夜景と都会の星空を同時に楽しむためのキャンピングチェアが置かれている。ベランダ奥に向かっていくための同線には、アンティークウッドを再現したグレー×ブラウンベースのチエーン敷材と人工芝がしかれている。その余白を埋めるのは、ホワイトとグリーンの玉砂利だ。外壁の都会的な雰囲気と植物が放つ鮮やかなグリーンの発色とのつなぎの役割を担っている。建物との調和を考えられた非常に計算された配色のベランダガーデンだ。

非常に多忙な夫婦は海外出張で家を空けることが多いといふ。しかし、だからこそたまに家で過ごす週末は大切な時間だといふ。乾いた植物の事が気にかかり週末にはどうしても早くに目を覚ましてしまうという。「早起きしてベランダで植物に水やりをしていると不思議な気がします。屋上庭園にいるようで。もともとはテラコッタのタイルが使われていたのですが、今のベランダのほうが色合い的にもしっくりきます」と話すのは長年アパレルの世界で働いている奥様だ。素材や色調に関しては「一家言ある。確かに植物や鉢の選定にもこだわりがある。整えられた色調は業界で鍛えられた審美眼のたまものだ。「ホームパーティで友人が集まることが多く、ほろ酔い気分で夜景を肴にベランダでお酒を飲み始める友達も多いんです。その時の皆の反応を見るのが楽しみでもあります。ベランダが庭になっていることにびっくりしていますから」夫婦二人だけの庭ではなく、訪れたすべてのお客様に提供される都会の高層階の「プライベートガーデン」といえるだろう。



しらい  
白井家のベランダガーデン

外壁のダークグレーに合わせて丁寧にコーディネートされたモダンガーデン。徹底的にグレー、ホワイト、グリーンの3色に徹底的に色数をしぼっている。珍しい多肉植物の個性を存分に發揮できる、構成になっている。



当日、高倉さんは既に施工するための材料を準備してくれていた。部屋の中に石材が積み上がりっている様子はなかなか特異な光景だ。傍らには悠ちゃんが待ち遠しい様子でそわそわしている。さっそく施工を始めてもらつた。慣れた手つきで手際よく防草シートをカットしてしまふと、あつという間にペランダはシートに覆われてしまった。

最初に手に取つたのはイエローべージュの花壇ブロックだ。なかなかに重そうだが、高倉さんは次々とブロックを積み重ねていく。まだ悠ちゃんの出番はない。

綺麗に積み上がつたブロックは既にそれだけでも様になつている。次に30cm角のブルーグレーのチエーン敷き材を並べ始めた。今日は好きなブルーグレーの商品をメインに考えました。ペルトーンの花壇は悪目立ちすることなく、周囲の色調につきりと馴染んでくれます」と話しながら壁際にアイボリーの花壇を並べていく。ここまでくると、お庭の予感がブンブンしてくる。次に「コーヒー豆のようなパッケージに入った砂利の袋を開け始めた。中から現れたのは、まさに「コーヒーながらの茶色

## 共同作業で見つける新しい一面

い玉砂利だ。「ベランダに土を敷くことはさすがにできないので、庭感を出すために、土の色に近いブラウンの砂利を選びました。

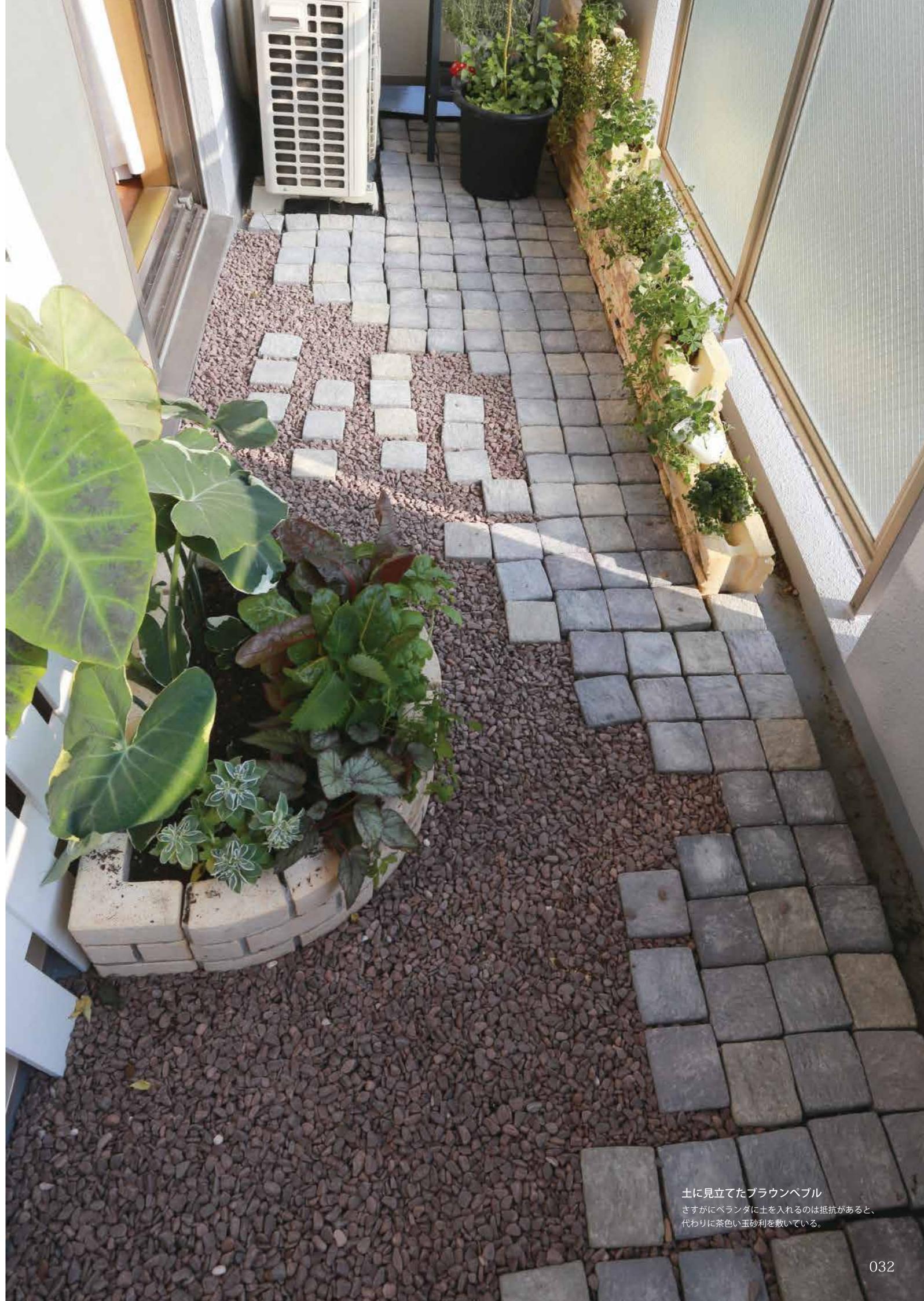
庭感と土感、ここがポイントです」という。ここまでくると悠ちゃんの出番だ。お父さんと二人で、まかれた砂利を平らならしていく。掌に感じる硬くて丸くてコロコロとした滑らかな感触を楽しんでいるようだ。「砂や土を触る機会はあっても、これだけ石で遊ぶ機会はなかなかありませんよね」と高倉さんはいう。ここまできててしまうと、お庭はほとんど完成だ。次に花壇に植物を配置していく。今回のテーマは食べられるお庭です。

「バジル、パセリ、サニーレタス、ワイルドストロベリーなど、ブラン砂利とのコントラストを考え、はつきりとした綺麗なグリーンの植物を選びました」。土を入れるお父さんの横で、指示がなくても悠ちゃんは自分で動くようになつてきた。「まるで、妻のようです」と苦笑いのお父さんだ。「共同作業で見つけた悠の新しい一面です。やっぱり女の子ですね。最後にジョークで水やりをするのは悠ちゃん。陽光がジョークの水に虹を作つている。娘の共同作業は太陽が少し西に傾き始めた頃に終わった。



景色を着に

たまがわ多摩川の手前には森が広がっている。季節、日ごと、刻によって樹々の表情は様々に変化するという。森の変化を着に一杯なんて日も



土に見立てたブラウンペブル

さすがにベランダに土を入れるのは抵抗があると、代わりに茶色い玉砂利を敷いている。

Your garden to grow in the family.

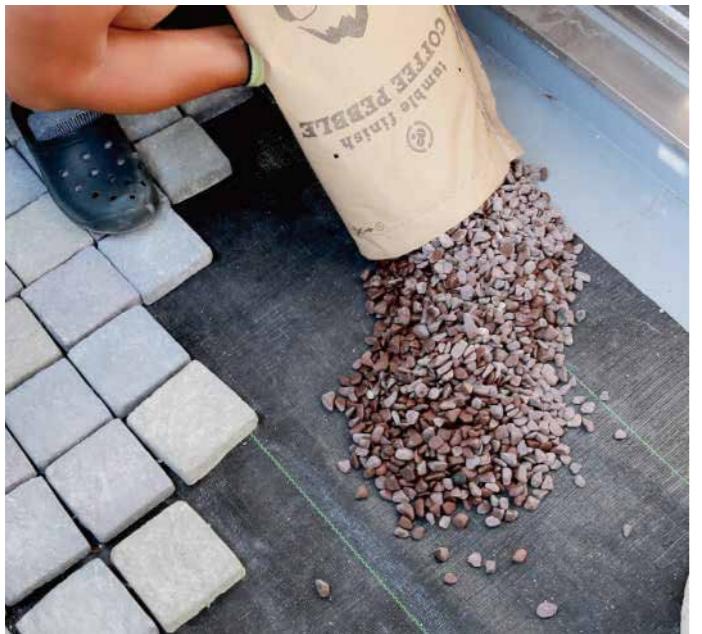


高倉さんに後日談を聞くことがで  
きた。「家族一人一人に変化が見ら  
れました。妻は用事がなくとも庭に  
出るようになりました。あ、我が家  
ではベランダではなくて“庭”と呼  
ぶようになりました。妻が職場の同  
僚に写真を見せたところ、私の家で  
もやりたいと、かなり反響があった  
ようです。あ、一度などベランダで  
ビールを飲みながらつろいでいる  
姿を目撃してしまいました」苦笑い  
の高倉さんだ。「娘も変わりました。  
率先して水やりをするようになりま  
したし、庭に出たいと口にするよう  
になり、次はいつやると聞いてく  
るようになりました。頻繁に模様替  
えをさせられたら、私の身が持ちま  
せん」庭つくりを終えた数日後には  
実際に収穫もおこなつたらしい。「娘  
との二度目の共同作業は収穫でした。  
驚いたのは、庭のサニーレタスをそ  
のまま口にしたことでした。こうし  
て日常的に植物と触れ合うことがな  
れば、屋外に生えている植物をそ  
のまま食べることなど考えられな  
かったと思います。実際にベランダ  
を庭に変えたことで新しい発見が  
多々ありました。施工自体はとても  
簡単です。置いて、敷いて、蒔いて、  
植えるだけですから。季節が巡った  
頃には模様替えをしてみたいと思  
います」

ベランダではなく庭と  
呼ぶようになった日

# Befor After 施工手順

洗濯物の物干しスペースでしかないベランダを、家族で楽しめるガーデンスペースとして生まれかわらせます。ホームセンターで手に入るガーデニング商品で思い通りのベランダガーデンに変身させましょう。

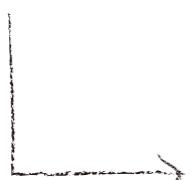


チェーンでつながっているアイテムは切り離して自由なレイアウトが可能です。



## 4. 砂利を撒く

下地のシートが見えなくなるまでまんべんなく砂利をまきます。砂利は粒サイズや色など種類が豊富なので、ガーデニングのイメージに合わせて砂利を選んでおきましょう。



砂利を撒いたあとは手やすきでならし、隙間を整えていく

## 1. 形にしたいガーデニングスタイルを決め、ベランダのサイズを図る

まずは、自分でガーデニングのスタイルをイメージし、使用したい色味や雰囲気などを決定します。  
その後、ベランダスペースのサイズを計測します。



## 2. ベランダに傷をつけないよう、防草シートを敷く。

汚れや傷を残さないようにすることと、経年後に片づけをしやすいように防草シートで覆います。ハサミで簡単にカットできるのでスペースに合わせて調整しましょう。



## 3. 花壇材をレイアウトする

あらかじめ使いたいアイテムを準備しておき、防草シートの上に並べていきます。花壇を設置し、敷材を並べていきます。この時、コンクリートボンドなどで固定しておきます。



## 5. 植物を植えこんでいく

好みの植物を設置した花壇材に植え込んでいきます。ベランダの日当たりに合わせて育てやすい植物や、家庭菜園で育てたい苗を植えて自由に作っていきます。



世界の風景をご自宅に、スタイル別お庭のプランニング。

# STONE MATERIALS & PLANNING

## ITALIAN STYLE



04



イタリアンプロムナード  
W300×D300×H25/5.4kg/¥740

06



ブラウン ベブル  
10kg/¥850

05



トップ

07



イエロー グラベル  
10kg/¥540

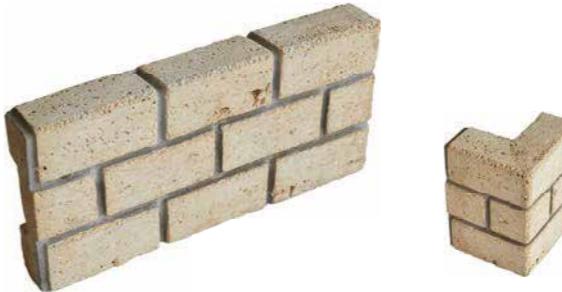
スタッキングブロック アルビノ

ベース / W400×H140×D120/9.5kg/¥1,660  
トップ / W400×D135×H40/4.5kg/¥1,060  
コーナー / W230×H140×D120/5.5kg/¥1,220  
コーナータップ / W200×D135×H40/2.5kg/¥900

4000mm



01



ライムストーンウォール  
ストレート / W410×H180×D55/7.2kg/¥920  
コーナー / W150×H180×D55/4kg/¥1,080

03



コッツウォール調乱形飛石  
A / W300×D280×H30/3.8kg/¥770  
B / W300×D240×H30/3.2kg/¥770  
C / W350×D280×H30/3.6kg/¥770  
D / W360×D260×H30/4.0kg/¥770

02



ステンドストーン ミックス  
W375×D400×H30/6.7kg/¥1,510

4000mm

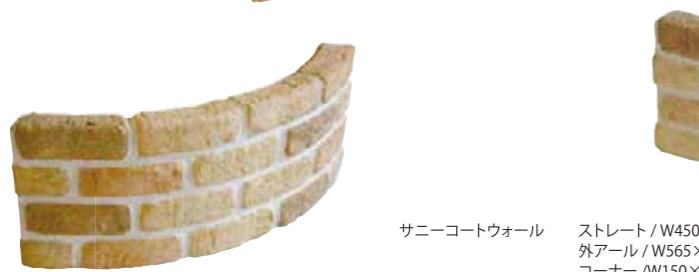


## Southern Europe Style

05



04



イエロー グラベル  
10kg/¥540

06



レイヤードコートウォール  
ストレート / W350×H155×D50/3.8kg/¥620  
アーチ / W410×H155×D50/7.5kg/¥770  
コーナー / W120×H155×D50/2.4kg/¥540

08



スタッキングボーダー イエロー  
ストレート / W410×H180×D55/6kg/¥920  
コーナー / W150×H180×D55/3.5kg/¥1,080

07

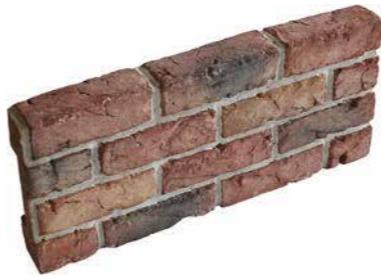


02



オールドヘローナヘックス  
W470×H20×D400/6.0kg/¥1,800

03



アルカイックボーダー  
ストレート / W450×H150×D50/6.7kg/¥1,820  
アーチ / W460×H150×D50/8.4kg/¥1,970  
コーナー / W120×H150×D50/3.8kg/¥1,080



## Paris Style

06



ランダムスクエア  
W300×D300×H20/5.4kg/¥770

05



グレイスウォール  
ストレート / W450×H200×D55/6.5kg/¥1,200  
コーナー / W150×H200×D150/3.2kg/¥770

09



フランスレンガ ブラウン  
W200×D105×H54/2.3kg/¥350

08



フランスレンガ イエロー  
W200×D105×H54/2.3kg/¥350

07



アンティックブリックプレート ブラウン  
W300×D300×H40/6.5kg/¥920

パリの街を思い浮かべるとき、華やかなイメージとは裏腹に、その景色は淡いクリームイエローのペールに透かされて郷愁的に感じる。パリを舞台にした映画による既視感からだろうか。あるいは街灯に照らされた建造物が黄色く浮かび上がっているからだろうか。実際に、フランス産のレンガ、石、瓦などの素材は黄色みがかった色をしたものが多い。そんなパリの街並みにみられるレンガ造りの建造物、石畳を再現したアイテムでつくるガーデンスタイルだ。

\*表示価格は税抜きです。

01



チエルシーボーダー  
ストレートイエロー / W460×H230×D55/8.6kg/¥1,380  
外カーブイエロー / W410×H230×D55/8.0kg/¥1,400  
コーナーイエロー / W125×H230×D55/4.5kg/¥770

02



ブルージュペーバー イエロー  
W500×D280×H20/7.2kg/¥1,660

03

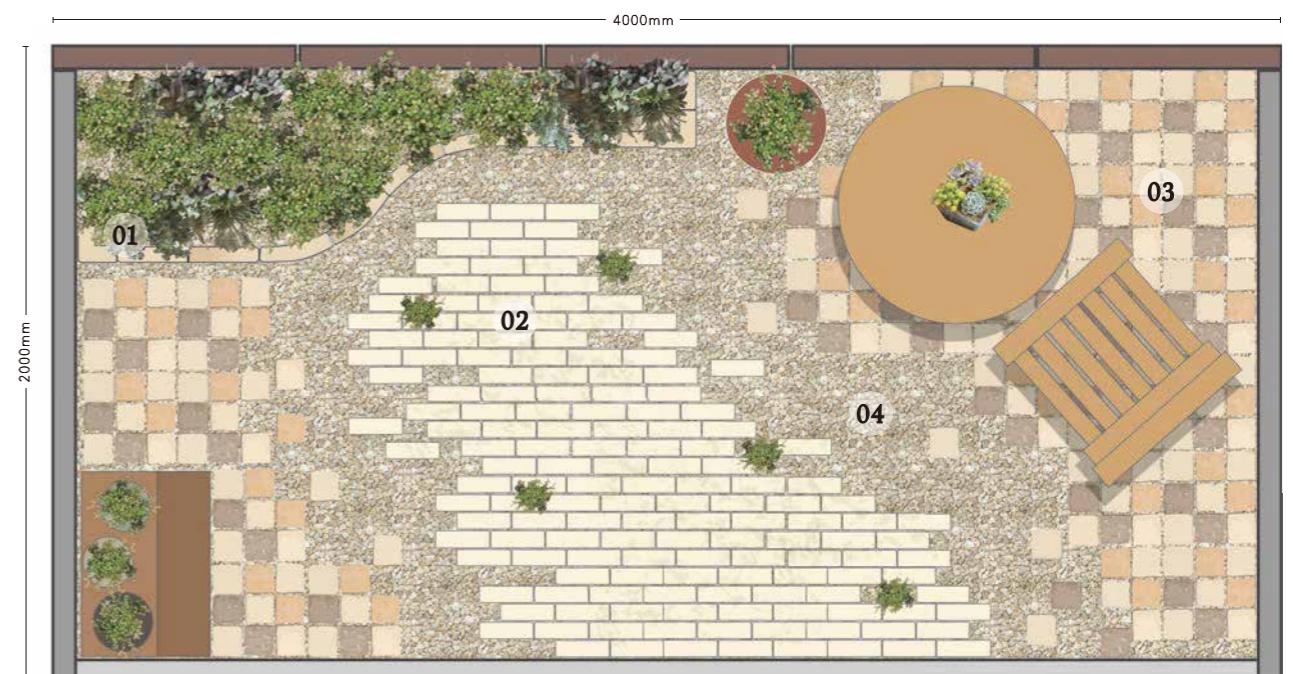


プロヴァンス ジョイント  
W300×D300×H25/4.0kg/¥740

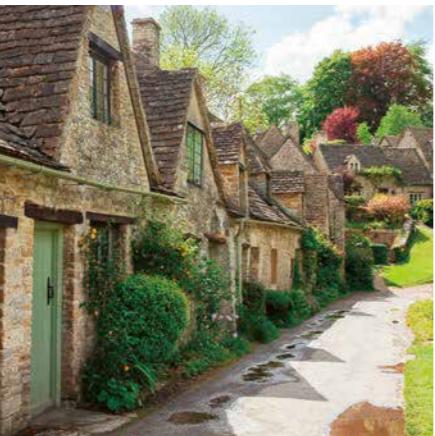
04



イエロー グラベル  
10kg/¥540



# BRITISH STYLE



ガーデニングといえば真っ先に思い浮かべるのが“イングリッシュガーデン”だろう。庭園の様式として、イタリア式に始まり、フランス式へと様式を変え、18世紀にそのスタイルを確立し、今尚王道として親しまれているのがイングリッシュガーデンだ。野花を思わせる不規則で自然な植栽。そして田舎を思わせる素朴で親しみやすい、木製品や石材だ。コツツウォルズストーンなどの土なじみのよいイエローの石材や赤茶色のイギリスレンガがよく使用されている。

※表示価格は税抜きです。

06



イエロー グラベル  
10kg/¥540

09



トラムウェイ  
W550×D315×H30/9.3kg/¥1,660

08



プレティッシュジョイント  
W300×D300×H25/4.0kg/¥740

07



ブラウン ベブル  
10kg/¥850

10



ヴィゴーニュストーン  
ストレート/W470×H210×D65/9.8kg/¥1,140  
アール/W560×H210×D65/9.8kg/¥1,360

01



コツツウォール調乱形飛石  
A / W300×D280×H30/3.8kg/¥770  
B / W300×D240×H30/3.2kg/¥770  
C / W350×D280×H30/3.6kg/¥770  
D / W360×D260×H30/4.0kg/¥770

03



ミニコツツウォルズボーダー  
ストレート / W340×H150×D35/3.1kg/¥760  
コーナー / W100×H150×D38/1.6kg/¥530

02



プレッドロック  
W400×D400×H30/7.2kg/¥1,970

05



ユニオンサークル  
センター / W150×D150×H30/1kg/¥770  
イン / W300×D340×H30/4.4kg/¥1,510  
アウト / W450×D340×H30/6.9kg/¥1,820

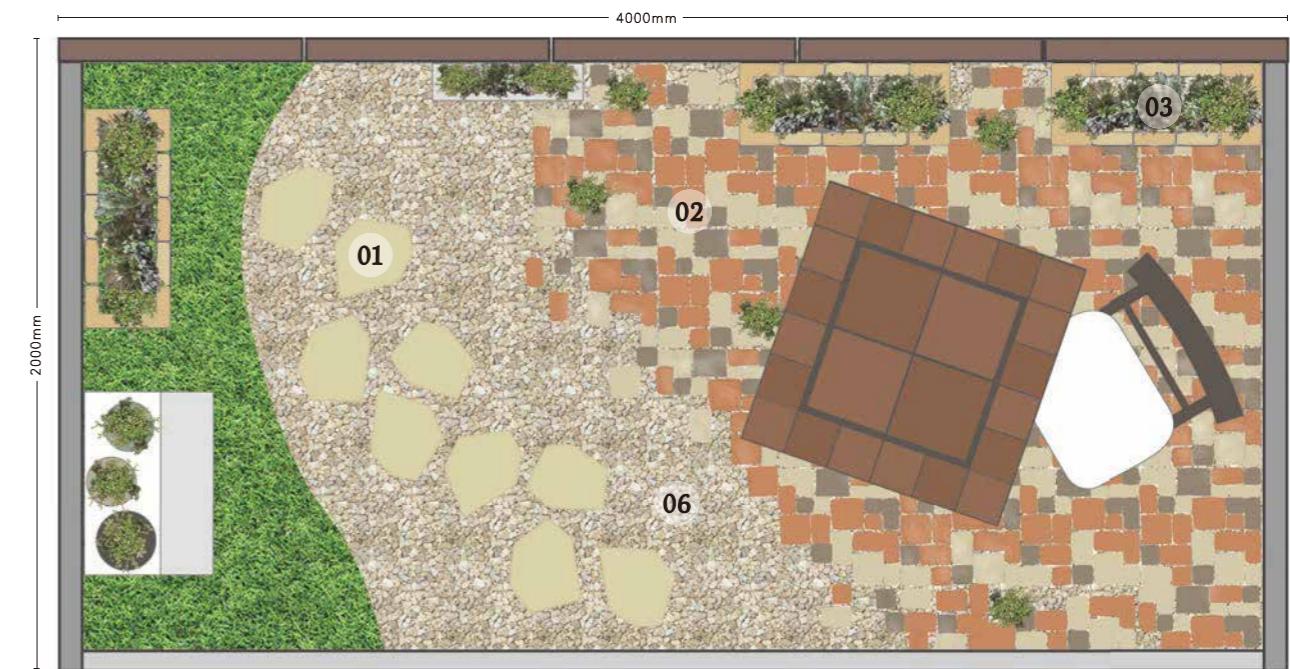
04



チエルシーボーダー<sup>®</sup>  
ストレートレッド / W460×H230×D55/8.6kg/¥1,380  
コーナーレッド / W125×H230×D55/4.5kg/¥770



商品のお問い合わせ 株式会社 LEC ガーデン事業部 03-5357-7898



# BROOKLYN STYLE

06



MODERN BRICK BK/WH  
W130×H60×D30/0.5kg/¥220



05



ブラウン ベブル  
10kg/¥850

08



モダングラベル  
WH & GR  
10kg/¥670

07

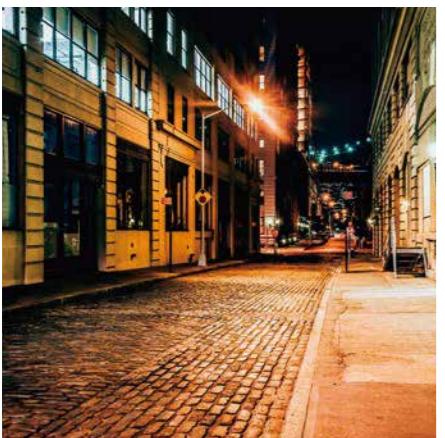


HAUS ソーラーライトスタンド BK/WH  
W155×H150×D160/5.5kg/¥1,970

10



ウェアハウスボーダー  
ストレート / W470×H210×D65/10kg/¥1,080  
アーレ / W560×H210×D65/12kg/¥1,300  
コーナー / W140×H210×D65/4.3kg/¥850



02



ファインエッジ  
W305×H107×D105/5.4kg/¥1,000

01



アンティークブリックプレートグレー  
W300×D300×H40mm/6.5kg/¥920

04



PING CORO BK/WH  
W70×H70×D70/0.8kg/¥200

03



スタッキングボーダーグレー  
ストレート / W410×H180×D55/6.0kg/¥920  
アーレ / W450×H180×D55/7.8kg/¥1,080  
コーナー / W180×H150×D55/3.5kg/¥620



アメリカはニューヨークのブルックリンの武骨で退廃的なイメージを現代的に落とし込んだラギッドなスタイル。ビート文学に登場するような乾いた空気に満ちた 60 年代の街並み、アートやカルチャーがアンダーグラウンドで急速に発展していった 80 年代のクールな荒廃感。それらの雰囲気を経年劣化して朽ちたブリックや、グレー・ブラックをベースカラーにおき、スモーキーに加工したアイテムで表現したガーデンスタイルだ。

\*表示価格は税抜きです。

# PORTLAND STYLE



06



イエロー グラベル  
10kg/¥540

05



ジョイントロック  
W400×H400×D25/6.0kg/¥1,230

04



ウイニースタンプ  
W340×D400×H25/5.3kg/¥1,820

09



マルチウッドチェーン 30  
W300×D300×H30/5.5kg/¥740

08



ウッドスタイル平板 3030 ウォールナット  
W300×D300×H40/7.9kg/¥920

07



ブラウン ベブル  
10kg/¥850

02



03

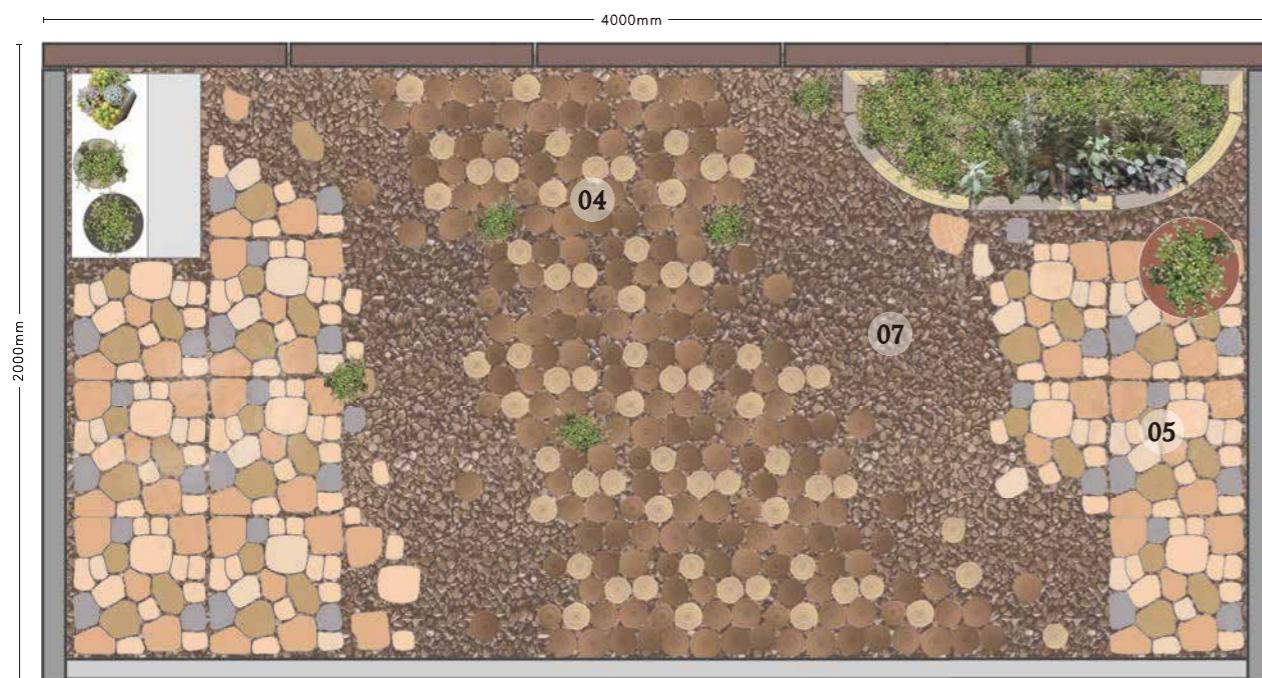


ティンバースプレッド

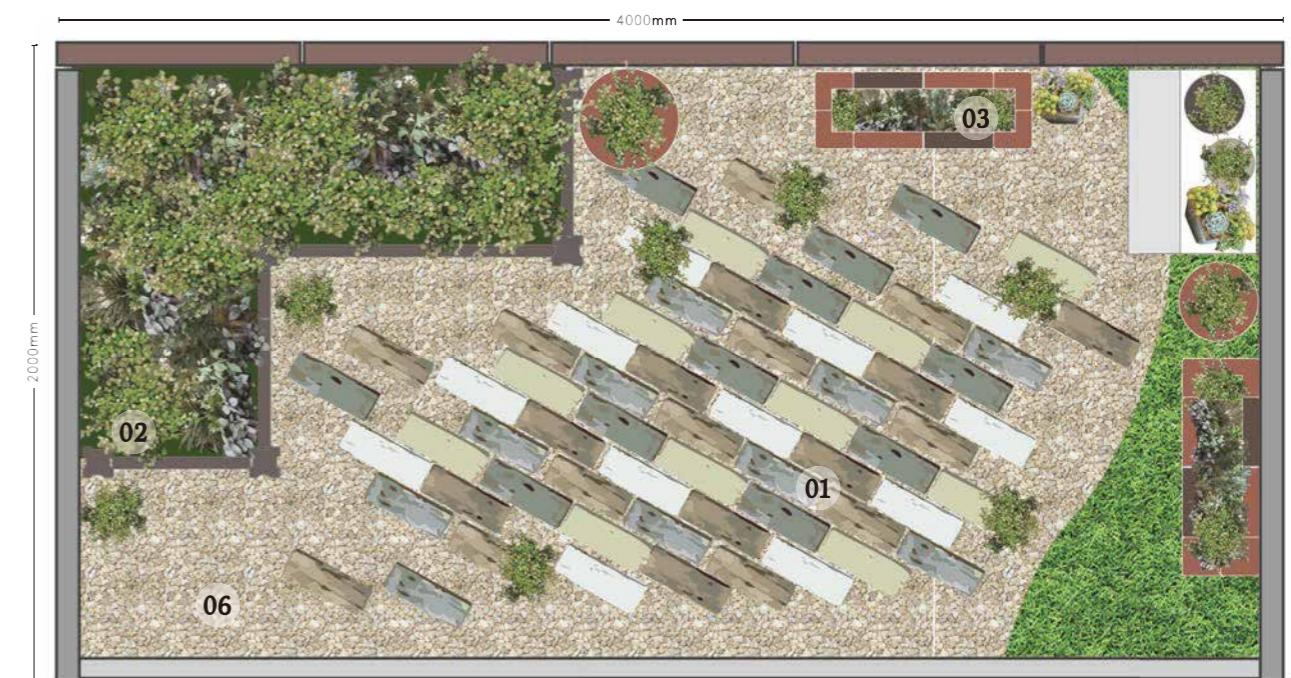
サイドスタンド / W100×D100×H200/3.3kg/¥1,080  
20 / W200×D200×H40/2.9kg/¥610  
45 / W200×D450×H40/6.0kg/¥1,360

60 / W200×D600×H40/8.2kg/¥1,970  
90 / W200×D900×H40/12.4kg/¥2,280

マルチウッドスタンド  
ストレート / W460×H180×D50/6kg/¥1,430  
コーナー / W140×H180×D50/4.2kg/¥1,000



商品のお問い合わせ 株式会社 LEC ガーデン事業部 03-5357-7898



# ORIGINAL BLEND

## GRAVEL & PEBBLE

さまざまな色をブレンドして、オリジナルの色調を作ることができます。  
※価格は参考上代になります。



PEBBLE  
WHITE × GREEN  
玉砂利 ホワイト×グリーン  
Weight / 10kg~  
¥620~



PEBBLE  
WHITE × PINK × RED  
玉砂利 ホワイト×ピンク×レッド  
Weight / 10kg~  
¥620~



PEBBLE  
WHITE × YELLOW  
玉砂利 ホワイト×イエロー  
Weight / 10kg~  
¥620~



PEBBLE  
BROWN  
玉砂利 ブラウン  
Weight / 10kg~  
¥850~



GRAVEL  
4~5COLORS MIX  
碎石砂利 ミックス  
Weight / 10kg~  
¥500~



GRAVEL  
WHITE × GRAY  
玉砂利 ホワイト×グレー  
Weight / 10kg~  
¥670~



WHITE PEBBLE  
玉砂利 ホワイト  
Weight / 10kg~  
¥540~



YELLOW PEBBLE  
玉砂利 イエロー  
Weight / 10kg~  
¥540~



PINK PEBBLE  
玉砂利 ピンク  
Weight / 10kg~  
¥540~



GREEN PEBBLE  
玉砂利 グリーン  
Weight / 10kg~  
¥540~



MIX PEBBLE  
玉砂利 ミックス  
Weight / 10kg~  
¥540~



WHITE GRAVEL  
碎石砂利 ホワイト  
Weight / 10kg~  
¥540~



YELLOW GRAVEL  
碎石砂利 イエロー  
Weight / 10kg~  
¥540~



PINK GRAVEL  
碎石砂利 ピンク  
Weight / 10kg~  
¥540~



GREEN GRAVEL  
碎石砂利 グリーン  
Weight / 10kg~  
¥540~

# BRICKS & GRAVEL

ベルギー、フランス、ドイツ、オランダなど、それぞれに風合いの違うヨーロッパ各地のレンガシリーズ。

※価格は参考上代になります。

## Belgium



ベルギーレンガ Atlas Getrommeld  
W200×D60×H50/1.4kg/¥ASK



ベルギーレンガ Novoton  
W200×D60×H50/1.4kg/¥ASK



ベルギーレンガ Norton  
W200×D60×H50/1.4kg/¥ASK



ベルギーレンガ Nostalgie Wasserstrich  
W200×D60×H50/1.4kg/¥ASK



ベルギーレンガ Oude Klampsteen Grijs  
W188×D88×H48/1.2kg/¥150



ベルギーレンガ Oud brugs  
W188×D88×H48/1.2kg/¥150

## Germany



ドイツレンガ Braunbunt  
W200×D100×H50/2.3kg/¥230



ドイツレンガ Rotblaubunt  
W200×D100×H50/2.3kg/¥230



ドイツレンガ Florenzbunt  
W200×D100×H50/2.3kg/¥230



ドイツレンガ Mediterraneo  
W200×D100×H50/2.3kg/¥230



ドイツレンガ Schwarzbraun  
W200×D100×H50/2.3kg/¥230



ドイツレンガ Stralsund  
W200×D100×H50/2.3kg/¥480



ドイツレンガ Husum  
W200×D100×H50/2.3kg/¥250



ドイツレンガ titan  
W200×D100×H50/2.3kg/¥280

## France



フランスレンガ Coq de bruyere  
W200×D105×H54/2.3kg/¥350



フランスレンガ Leopard  
W200×D105×H54/2.3kg/¥350

# STYLE ARCHIVE

スタイルで考えるパッケージガーデン

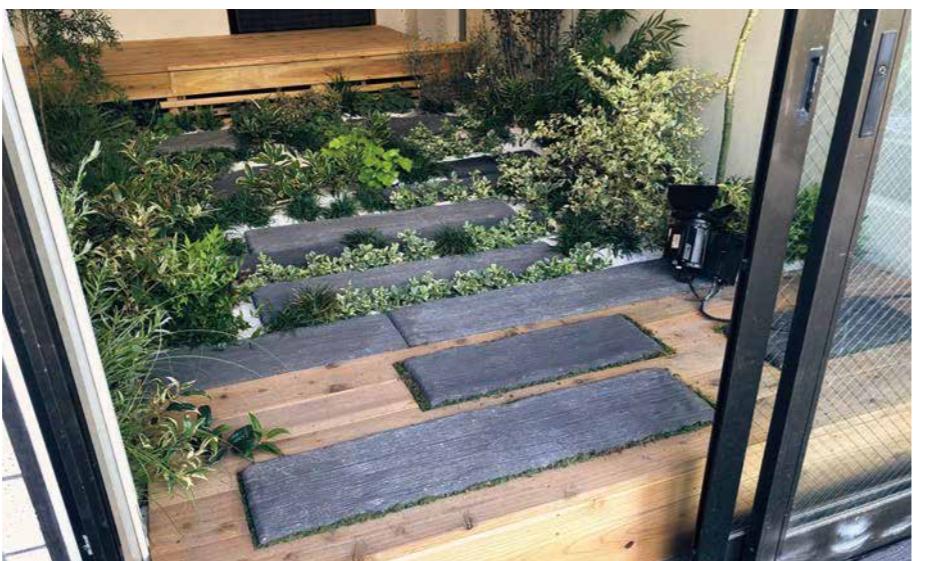


section 04

## NATURE GARDEN

グリーンに関連した業務を幅広く手掛ける  
「グリーンディスプレイ」様のショールーム。  
本物志向のディスプレイに馴染みのいいアン  
ティーク擬木を用いたスタイル。

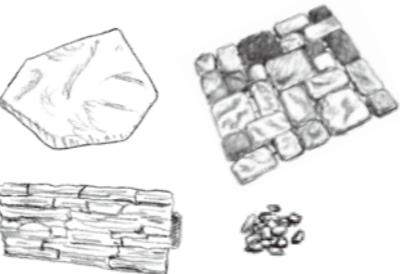
at GREEN DISPLAY



section 01

## BRITISH STYLE

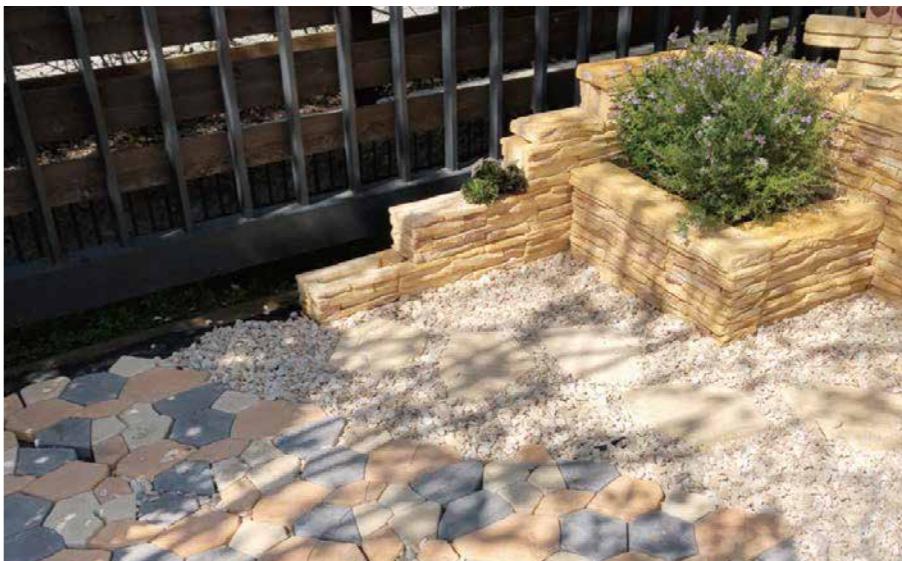
Color scheme  
Yellow.Brown.Beige.Red



section 02

## PORTLAND STYLE

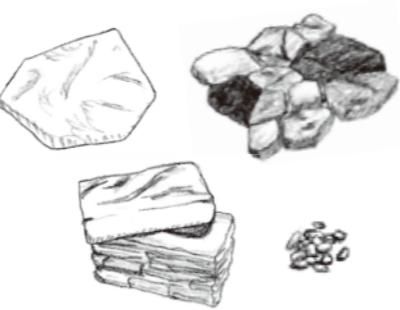
Color scheme  
Brown.Green.Blue.White



section 03

## ITALIAN STYLE

Color scheme  
Yellow.Beige.Gray





section 05

## ENGLISH FORKY GARDEN

ヨーロッパのカントリーハウスの庭をイメージしたガーデンスタイル

LEC inc.



LEC inc.

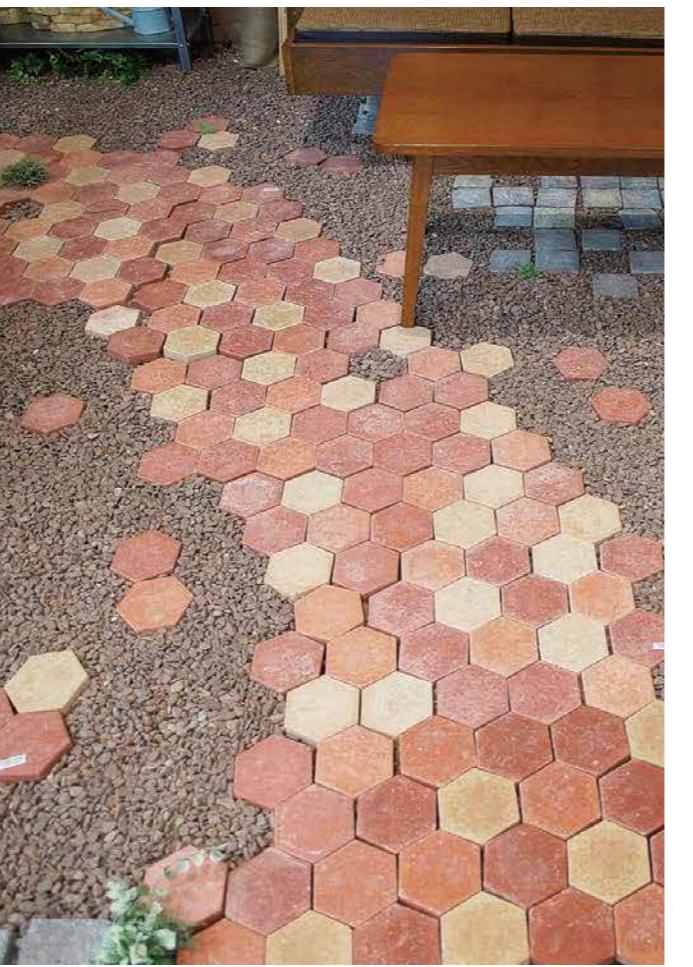


section 07

## COZY SUNROOM

コージーとは居心地の良い親しみのある空間。  
太陽をイメージしたテラコッタ調のタイルで作る、  
日当たりのいい植物とともにくつろげるサンルーム  
をイメージしたスタイル。

LEC inc.

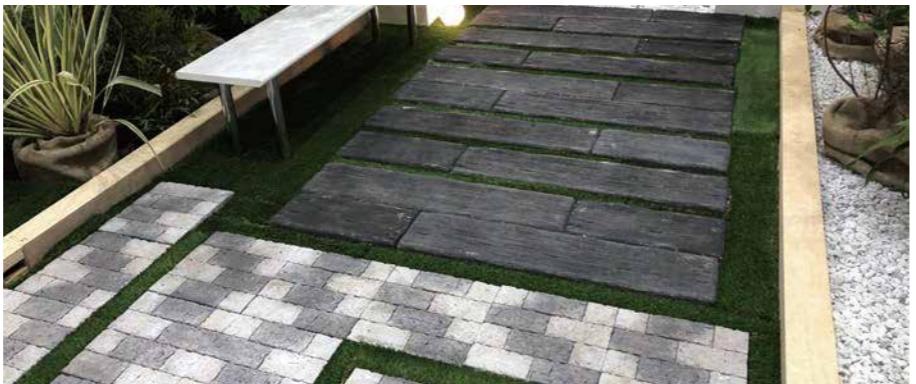


section 06

## OUTDOOR IN URBAN 1 ROOM

「室内に屋外を持ち込もう」という、夏水組様の企画への提案。木のぬくもりとモノトーン石材の静謐さのコントラストを際立たせた空間。

夏水組 × LEC inc.



---

## section 10

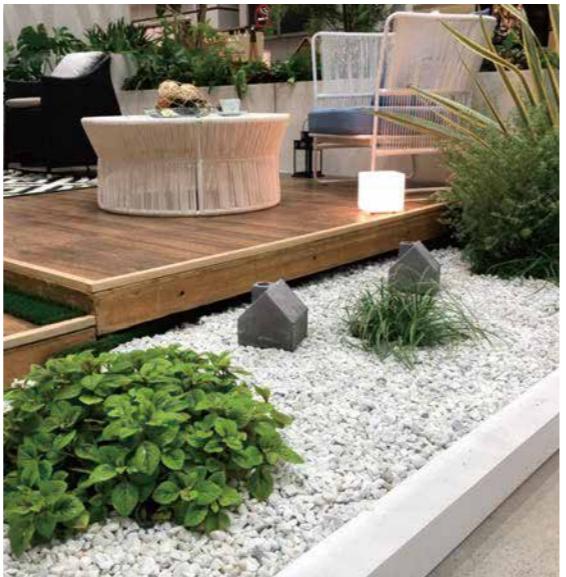
---

### OUTDOOR IN LIVING

モダンスタイルの戸建て住宅に合う、モノトーンアイテムで構成した都会的なガーデンスタイル。

LEC inc.×YKK ap×LARSON・JUHL

---



---

## section 08

---

### GARDEN IN OFFICE

「オフィスの中にお庭の一部を取り入れよう」をテーマに施工を行った事例。

LEC inc.

---



---

## section 09

---

### NATURE IN THE CITY 2018

「都市に自然のパワーを取り入れよう」という、例年行われている阪急百貨店うめだ本店のイベント。泥臭さを強調するためにブラウン系の石材を用いて構築したスタイル。

LEC inc.

---





インテリアからアウトドアへ  
6. デザイナーズプロダクトを大胆に使う

インテリアの世界ではもはや定番のFLOSのメイティ。デザインはドイツのコンスタンチン・グリッッチだ。電源さえ確保できれば外作業にもうってつけだ。ペランダの手すりに引ひかけたり、木の枝に引っかけたりと設置場所は自在だ。薄暗くなつた夕方の作業に役立つ。/¥15,120 (tax in)

7. 雨の日だって  
8. めかることない装いを

2012年に設立されたデンマークのRAINS製のレインコートだ。レインコートとはいって、この立ててシルエットは日常使いしたくなってしまうほど洒脱だ。「雨の日の憂鬱をおしゃれでボディアート」というRAINSのコンセプトはお庭にだって無縁ではないはずだ。/¥17,064 (tax in)

9. 掃くほどに輝く、魔法の箒  
10. サラリと羽織れる  
薄手の英国

一生に三本あれば足りると言われる棕櫚箒。こちらは山本勝之助商店の逸品だ。棕櫚皮に含まれる油分でほこりが舞いにくく、天然のワックス効果もあると言わわれている。掃くほどに床が輝く魔法のような箒だ。作業後に玄関先やペランダ前を軽く掃くのにちょうどいいサイズだ。/¥1,404 (tax in)

11. 蚊取り線香をシックに  
12. みせるアイアンホルダー

暖かい季節、外で作業をしていると、どうしても避けられないのが蚊による虫刺され。蚊取り線香の缶のデザインも、それはそれで風情を感じて乙なのだが、洋風ガーデンにはどうしても浮いてしまう。そんな時に活躍してくれるアイアン製のホルダー。蚊取り線香の形式美に気づかれる。/¥1,728 (tax in)

11. ラフに使える大容量の  
キャンバスバッグ  
12. 手になじむ重量級

サンフランシスコ発のブランドJOSHU VELA TOCMC(テキサスオーガニックコットン協会)認定の良質なコットンを使用して1点1点手作業で丁寧につくられている。バリッとした厚手のキャンバス生地なのでめいっぱい詰め込んでラフに使ってもらいたい。/¥19,440 (tax in)

1. 使うほどに恋しくなる  
手になじむ重量級

ジョーロの代表格といえば英国はHAWESだ。「絹糸の散水」と称される真鍮のシャワーヘッドとスチールのコンビネーション。一たび使い慣れると、このどっしりとした腕なじみがないと不安に感じてくる。内容量5l。/¥10,368 (tax in)

2. 100年の歴史に裏打ちされた  
デザインと実用性

LLBeanのレインブーツ。1912年からデザインが変わっていないといふから驚きだ。アメリカ通、アウトドア通にはあまり有名で、雨の日のみならずファッショニアアイテムとしても定着している。フィット感は通常のレインブーツと比べて別格で作業向きだ。/¥22,680 (tax in)

3. 伝統を昇華させた  
英國製ガーデニングツール

Kent & Stowは1800年代の庭道具の設計図に基づいて製作しているガーデニング用品のメーカーだ。伝統を現代的なアプローチからモティファイして誠実なモノづくりを行っている。比較的手に入れやすい価格帯も魅力。/HAND FORK ¥2,700 (tax in) HAND TROWEL ¥2,700 (tax in)

4. ガシガシ使ってこそ、  
なお美しい

洗いをかけたデニム地のエプロン。ガシガシ使って、ワシワシ洗って、くたつてきた状態がより美しい。汚れを気にせず、アクティビティに使いたい。庭いじりで使うエプロンは泥汚れすら様になるアースカラーを選びたい。/参考商品

5. お庭にアイアンマジックを

アンティーク加工を施したアイアンで作られたサンクフレドゥーベルというフラワースタンド。前かごには25号、後かごには3号のプランツボッドが収まるサイズになっている。お庭にアイアン製のアクセントというのも個性的でおもしろい。/¥4,968 (tax in)

# garden goods

## カタチから入る —眺めて踊るガーデンアイテム—

植物を育てたり、土をいじったりするというのは、結局は作業なわけですから、いつしか興味を失つてしまう人だって少なくないのです。それでも植物は生き続けなければいけないので、やっぱり面倒を見続けて欲しい。特に『飽きっぽい人、必見。身に着けて、手に持って、眺めて心躍る、カタチから入るガーデニング入門の基本アイテム。





### ヤッサ（レモンとマスタードのチキンシチュー）

#### 材料（4～5人分）

鶏もも肉 800g、レモン 1個、玉ねぎ 1個、にんにく 1かけ、オクラ 8本、セロリ 1本、水 150cc、ビール 350cc、白ワイン 少々、塩 少々、粒マスタード 大さじ1、オリーブオイル 大さじ1、ブラックペッパー 適量、鷹の爪 少々  
※セロリシールド 少々、※ローリエ 少々、※ローズマリー 少々、※タイム 少々、※クローブ 少々、※キャラウェイ 少々

#### 作り方

【1】鶏肉を食べやすい大きさに切り、※のハーブ類をまとめてみこむ。【2】ハーブをもみこんだ鶏肉をボールにうつし、ビールにひたした後、冷蔵庫で30分ほど寝かす。【3】玉ねぎの皮をむき輪切りにする。レモンを絞りすりおろしたにんにくと粒マスタードと一緒に混ぜ合わせる。【4】鶏肉をビールから取り出したら【3】の玉ねぎソースと混ぜ合わせて一晩寝かす。【5】フライパンを中火にかけオリーブオイルを入れる。鶏肉だけを取り出して、塩とブラックペッパーをふり、きつね色になるまでグリルする。【6】フライパンに玉ねぎソースと白ワイン、水を入れて煮立たせる。【7】セロリを食べやすい大きさに切り、オクラと一緒にフライパンに加えて、一煮立ちさせる。



### 3種のきのことエビのエスニックスープ

#### 材料（4～5人分）

しめじ1パック、えのき1パック、まいたけ1パック、えび4尾、セロリ 1本、パクチー1袋、レモン(輪切) 1枚

<スープ>  
酒 大さじ4、砂糖 小さじ2、しょうゆ 大さじ1、ナンブラー 大さじ1、豆板醤 小さじ2  
鷹の爪 4個、しょうが 1/2片、こしょう 適量、レモン汁 大さじ1、水 800ml

#### 作り方

【1】まいたけとしめじを小房に分ける。エノキは石づきを切り落とし、半分に切ったあと、食べやすい大きさにさく。【2】エビは背に切り込みを入れて背わたを取り除き、水洗いをする。レモンを輪切りにし、パクチーを1cm程度の長さに切る。セロリは表面の薄皮をピーラーでむいていく。【3】鍋にスープの材料を入れて強火にかけ、きのこを入れて煮込む。再び煮立ったらエビを入れて赤くなったら火を止める。【4】レモンとパクチーをのせる。

# Verandah Garden Dish with herb

育てたハーブを時間ごといただく。

庭には実際に様々な楽しみ方があると思うのです。“つくる楽しみ”“眺める楽しみ”“立つ楽しみ”“育む楽しみ”“聴く楽しみ”“感じる楽しみ”そして“食べる楽しみ”です。庭いじりをしようなんて人が食に興味がないわけなんてない。というのは私の思い違いでしょうか。庭いじりをする人はきっと時間を大切にしているのです。それと同時に時間を無駄に使わない人のはずです。これも私の思い違いでなければ、忙しない現代社会において、水やりをする時間や、剪定をする時間なんて間違なく何かの時間を割かなければできないことだと思います。だからきっと庭いじりをする人は時間の大切にしている人。ひいては一つの行為を無駄にしない人だと思います。だって植物に構っている時間を失っているだけ、他の時間も大切にしないといと損なはずだからです。きっと食事にだって手は抜かない人なはずです。美味しいもの？身体にいいもの？はたまた心にいいもの？きっと何かにいものをいただいているはずです。ガーデニングを始めるなら手始めにハーブはいかがですか？手軽だし、簡単だし、かわいいし、おしゃれだし、何と言つても食べられちゃいますから。手をかけて育てた時間ごとまるっと食べられちゃうから、その美味しさはひとしおなはずです。育てたハーブを使った料理を食卓に並べてみてください。テーブルの上が、食卓に座ったみんなの顔が、きっと春のお庭みたいにぱっと華やぐと思いますよ。



### タコとジャガイモの スパイシーバジルソース炒め

材料 (4~5人分)

タコ 400g、ジャガイモ 2個、トマト 1個、にんにく 1かけ、白ワイン タコが浸る程度、オリーブオイル 大さじ1杯、バジルソース 適量、オレガノ 適量、ローズマリー 適量、チリペッパー 適量

作り方

【1】タコをぶつ切りにしたら、白ワインに漬け込む。【2】ジャガイモとトマトをざく切りに、にんにくをみじん切りにする。【3】フライパンにオリーブオイルを引き、にんにくを入れる。オイルに香りがうつったら、じゃがいもを入れる。【4】ジャガイモに焦げ目がついたら、タコとトマトを入れて、バジルソースで炒める。【5】チリペッパー、オレガノ、ローズマリーを振りかける。

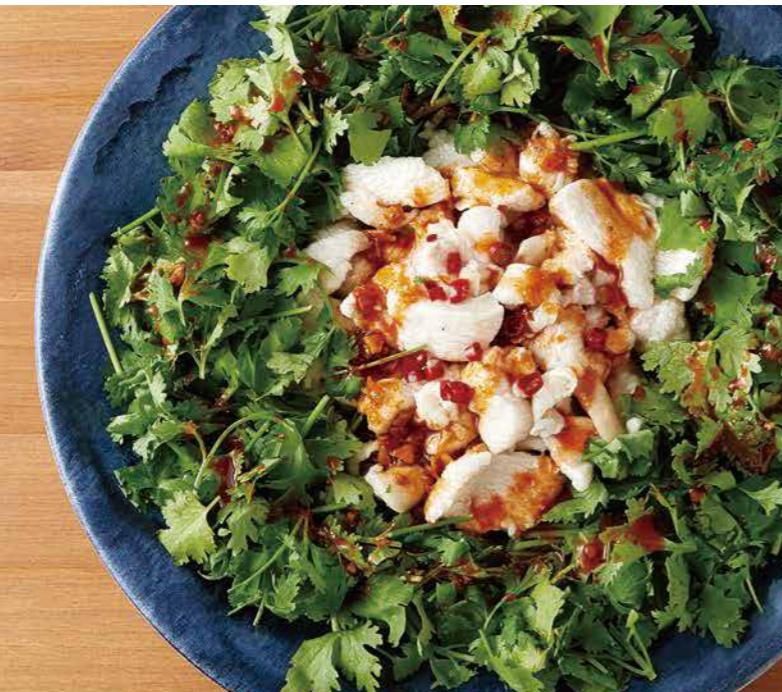
### パクチーとぶりぶり鶏むね肉の エスニックソースサラダ

材料 (4~5人分)

鶏むね肉 150グラム、塩 適量、こしょう 適量、片栗粉 大さじ1、パクチー 好きなだけ  
<エスニックソース>  
ナンプラー 大さじ1、レモン汁 大さじ1、おろしにんにく 1かけ分、おろししょうが 1かけ分、砂糖 ひとつまみ、ラー油 小さじ 小さじ1、豆板醤 適量

作り方

【1】鶏むね肉を繊維と反対の向きに削ぎ切りする。【2】塩コショウをもみこみ、片栗粉をまぶす。【3】パクチーを食べやすい大きさに切る。【4】鍋でお湯を沸かし、沸騰したら鶏肉を入れてゆでる。火が通ったら、ざるにあげて熱を冷ます。【5】エスニックソースの材料を全て混ぜ合わせる。【6】大皿にパクチーを盛り、中央に鶏肉を乗せる。エスニックソースを全体にまんべんなくかける。



### アイスバイン 塩漬けハーブポーク カレー風味のザワークラウト添え

材料 (4~5人分)

豚肩ロース 800g、セロリ 1本

<ソミュール液>  
水 1000cc、あら塩 1/3カップ、さとう 大さじ1、クローブ 4個、ナツメグ 小さじ1、ローリエ 1枚、ローズマリー 小さじ1、ブラックペッパー 適量

<カレー風味のザワークラウト>  
紫キャベツ 1/3個、塩 2g、酢 20g、粒マスタード 適量、カレー粉 適量

作り方

【1】豚肉に塩をすりこむ。【2】大きなボウルにソミュール液の材料を入れて、しっかりと混ぜ合わせる。【3】ソミュール液の入ったボウルに豚肉全体が浸かるようにして一晩漬けこむ。【4】セロリを細かくカットしておく。【5】ボウルから豚肉を取り出して、水で洗いハーブ類を落とす。【6】フライパンに薄く油をひき軽く焦げ目がつくまで豚肉を焼く。【6】そこに水1000ccと塩、セロリを入れて2~3時間弱火で煮込む。【7】紫キャベツを千切りにする。【8】フライパンを中火にかけ紫キャベツ、塩、酢を入れて、蒸す。【9】仕上げに粒マスタードとカレー粉で味を調える。

## ベランダ菜園におすすめのハーブ

バジル



イタリアンパセリ



タイム



ローズマリー



料理の使い道の幅が圧倒的に多いバジルはとも丈夫で初めてハーブを育てる方でもわりと育てやすいハーブ。お日様が大好きなハーブですので、日当たりと水さえきちんと与えればすくすく育ってくれますよ。

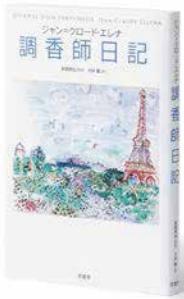
料理にちょっと添えたら香りも見た目も楽しめるイタリアンパセリは、柔らかくて食べやすく、春から秋まで収穫できる嬉しいハーブ。温湿を好み、暑すぎる場所には弱いです。

料理や魚料理に良く使われているタイムは、とても優雅な香りで、煮込み料理などの香りつけと臭み消しなどによく使われています。



*Herb recipe*

# 晴耕雨読



『調香師日記』  
／ジャン=クロード・エレナ  
1年にわたって調香師の生活を綴った創作日記だ。商業と香りの深い関わり、人間と香りの複雑な交わりを知る事ができる。高級メゾンのフレグランスの調合を手がける行程で、様々な花や植物の名が登場する。栽培する植物の選定に迷ったなら有名フレグランスに使用されている植物で揃えてみるのも面白い。



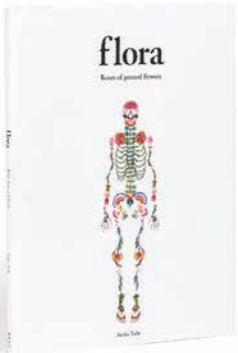
『庭仕事の愉しみ』  
／ヘルマン・ヘッセ  
晩年のヘルマン・ヘッセは執筆以外の時間のほとんどを庭で過ごしたという。庭にまつわる詩、散文、エッセイ、水彩画、写真などが掲載されている。ヘッセが自然と共生していく中で紡がれた言葉の中に、彼の文学性につながる精神を散見できる作成。



『週末、森で』  
／益田ミリ  
仕事一筋、都会に住むアラフォーの独身女性二人が毎週末、田舎暮らし始めた主人公に会うために森を訪れる。都会のさくられた社会生活をやり過ごす術を、森で過ごした体験からふんわりと学ぶ。1話完結の短編集で気負わず気楽に読みができる。



『フランドルの四季暦』  
／マリ・ゲヴェルス  
ベルギーのフランス語文庫を代表する女性作家。1月から12月まで、季節の移ろいと共に随想が語られていく。自然の息吹を耳元で感じられるほどに、精緻で美しい自然描写で織られた、うつとりしてしまうほどに繊細なエッセイ集。自然愛好家のバイブルとも言われている。



『flora』  
／多田 明日香  
色彩鮮やかな花弁や葉を使って体の骨格を色美しく描いた作品集だ。当初、500部限定の自費出版であったが、現在は一般販売されている。花の美しさと健やかさを人間の女性に重ね、もの言わぬ押し花の女の骨格に、言葉を用いず無言で“女性”を語らせようとしている。



『春の庭』  
／柴崎友香  
第151回芥川賞受賞作だ。作中に登場する「春の庭」という写真集に登場人物は動かされる。この作品は季節の変化を受けて、ゆっくりと移ろっていく庭の風景を見るような感覚で読める作品だ。人の営みの変化は劇的ではない。季節の変化のように。



『ボタニカル・ライフ』  
／いとう せいごう  
専門的な知識もない、庭もない、ただ植物は好き、しかし最後にベランダはある。そんな植物爱好者たちを勇気づけてくれる一冊だ。咲く花あれば枯れる植物もある。著者が一喜一憂しながらベランダで愛しい植物を育てる奮闘記だ。「ベランダー」という呼び名を世に知らしめたのも同書だ。



『花と木のうた』  
／吉野 弘  
詩人・吉野弘が花や木、自然について編んだ詩集だ。動植物には等しく命が与えられていて、その価値に優劣などなく、互いに尊いものだという思いを改めて思い知らされる。時に力強く、時にか弱い“うた”が植物を愛でる気持ちを一層に育んでくれる。



“晴れた日には田畠を耕し、雨の日には静かに読書をする”  
庭いじりもそうであろう。

さて、今日は雨であろうか。カーテンをひいてみると、朝陽がベランダの植物に燐々と降り注いでいる。繁茂しそぎたシルバーフォールズが目にまぶしい。モリモリと育った様子を眺めていると今日は庭いじりをさぼって、日がな一日ベランダで読書でもしてみようかななど思ってしまう。さて、まずはアレかなと冷蔵庫を開けて麦から作られたアレの缶を探してしまつ。

小説を読み終えると、そこに登場する人物の人生に触れられたような感覚があった。勘違いでも思い過ぎでもなく、眞実であると思う。読者の経験が血となり骨となり登場人物に対して生を吹き込み肉付けしていくわけである。ここで紹介する本は小説ばかりではないが、先に書いたように、人間の人生に触れるような大仰な内容のものばかりはないが、庭いじりを単なる作業に終わらせないことに、大いに役立つことになると思う。目の前の庭に、土に植物に、空気に、風に、季節に、意味を知り、価値を知り、感じ方を知ることができるようになるはずだ。どんな植物にも歴史があり、物語があり、人間との関わりがある。色があり、形があり、香りがある。それらを不意にしてしまうなんて、せっかく土で手を汚して、衣類を汚してまで作業するのだからもつたないと思つ。



# NIWATOKO

Editor in Chief & Creative Director

Yoshihito Okubo

Chief Designer & Illustration

Ayako Shibata

Designer & Illustration

Ayumi Kawamura

Photo

Yukiko Yamashita(Cover/P58-65)

Shingo Mitsuno(P8-13)

Tetsuro Tanaka(P16-29)

Hiroyasu Sugiyama(P38-51)

Garden Design

Kokukyo Ryo

Takeshi Okumura

Koji Akahori

Kazuyoshi Takakura



ベランダという空間が見直されるようになってきていることはとてもよい事だと思う。住居によってその大きさは様々だが、なかなかのスペースだと思う。押し入れよりは広いし、トイレよりも広い。それなのに、ほとんどのベランダは洗濯物を干すか、タバコを喫む（最近はその事情もなかなか厳しいようだが）ことくらいにしか使われていない。「ベランダガーデン」の特集を組んで思った事は、庭がなくてもベランダがあれば、庭を諦めなくてもいいのだと言う事だ。ベランダを庭に変えることで、思っていた以上に暮らしが変わるらしい。景色が一変するらしい。インテリアと同じくらいたい模様替えを楽しめるらしい。それはそうだ。ベランダでガーデニングを楽しむ生活を、集合住宅のリビングから庭を眺めている自分を、想像するだけでわくわくしてくる。

ベランダで植物を育てる人を「ベランダー」といい、ベランダにリビングを持ち出すことを「アウトドアリビング」という。そして、そのどちらも兼ねているのが「ベランダガーデン」だ。最近では「緑育」という言葉も聞くようになったが、それにも一役買うことだろう。まさにいいこと尽くしではないか。アウトドア好きや植物好きな人はもちろんだが、インテリア好きな人も試してみない手はないと思った。ベランダまで抜かりなくデザインをしてみるべきだと。

ベランダが庭に変われば、世の中の緑はもっと増えると思う。



LIFE BY THE GREEN